

まほろば

H28. 10月号
Autumn
ご自由に
お持ち帰りください

消化器センター特集

冬は感染症にご用心

糖尿病内科よりお知らせ

入江病院



医療法人 松藤会
入江病院

「安心と満足」

安心できる医療の質とサービスを提供し
患者様に満足いただける病院を目指します



早期発見から治療まで

まほろば 7月号では、皆様に出来るだけストレスなく内視鏡検査を受けて頂くための当センターの取り組みについてご紹介させて頂きました。とは言うものの、早期発見のために受けて頂く内視鏡検査です。見落としのある検査では意味がありません。

当センターでは、精度の高い検査をご提供することはもちろん、診断から治療、治療後の入念な経過観察までを一貫して行っています。今回は、当センターで導入している内視鏡システムやがんの内視鏡治療についてご紹介させて頂きます。

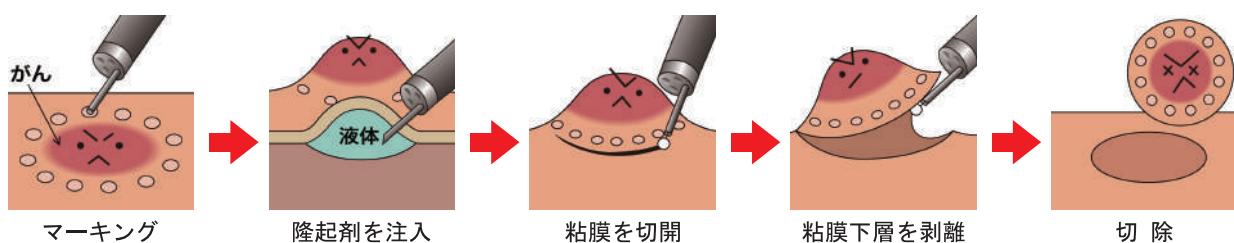
最新内視鏡システムで小さながんも発見

内視鏡機器の進化や診断学の向上により内視鏡検査で小さながんを見つける事が可能になってきました。当センターではオリンパス社製の最新内視鏡システムを導入しています。このシステムはハイビジョン画質を超える明るく高画質な観察を可能とし、NBI (Narrow Band Imaging=狭帯域フィルター内視鏡) 技術を標準搭載しています。

NBI 観察では、通常光で観察しにくい毛細血管の集まりやそのパターンを鮮明に描出できます。さらに拡大観察を併用することで、がんの表面に出来る血管のわずかな変化をとらえることができ、早期発見につながります。

おなかに傷をつけずにがんを治す

ある一定の条件を満たし、リンパ節転移を起こしている可能性が少ないと考えられる比較的早期のがんは、臓器を温存したまま内視鏡で局所だけを切除し、治療することが可能と考えられています。当センターでは初期の胃がんに対して内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) を行っています。ESD は電気メスでがんを周囲の粘膜下組織ごと剥がす治療で、一括切除することで根治を目指します。内視鏡治療は外科手術に比べおなかに傷がつかず、治療後も胃の機能が温存できます。入院期間も 1週間~10日程度で、患者さんにとって比較的負担が少ない治療と言えます。



早期発見が何よりも大切。

まずは内視鏡検査から。



消化器センターへのお問合せは
079-239-3121 (代) まで。



通常光での観察



NBI 拡大観察
(赤丸内ががん組織)





冬の季節は感染症にご用心

ウイルスから身を守りましょう



暑い夏も終わり、涼しくなってきた今日この頃、いよいよ今年も冬が近づいてきました！

これからの時期は、インフルエンザやノロウイルスなど様々な感染症に対する注意が必要です。では一体なぜ、冬になると感染症が流行するのでしょうか？

まず1点目は気温と湿度が低下するためです。ウイルスの多くは低温・低湿度を好みます。暖かい時期に比べると生存期間が延伸することによって感染力を高めます。また、空気が乾燥することで、ウイルス中に含まれる水分が蒸発して空気中に浮遊しやすくなり、咳やくしゃみなどで飛沫されたウイルスが周りへの感染が広げます。ウイルスなど感染性微生物にとって、冬は絶好の季節なのです。

2点目はヒトの病原体に対する抵抗力が低下していることが挙げられます。寒い時期は代謝活動が低下することにより免疫細胞の活動も弱まります。のどや気管支などの粘膜も乾燥して傷み病原体が体内に侵入しやすくなるのです。

感染症は予防することで感染や発症、重症化を防ぐことができます。感染予防はうがい・手洗いの励行、マスクや加湿器による湿度管理、など家庭で出来ることです。この冬は上手に感染予防して元気に乗り切りましょう！

インフルエンザ

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛が突然現れます。高齢者は抵抗力が弱まっている後に続いて起こる肺炎（二次感染）に注意が必要です。感染は主に飛沫感染です。外出時はマスクの着用、帰宅後はうがいと手洗いを励行しましょう。

RSウイルス

生後2歳までにほとんどの乳幼児が感染します。多くは発熱や鼻汁などの症状で済みますが、重症の場合は咳がひどくなり呼吸困難になったり、肺炎を引き起こすことがあります。特に生後6ヶ月以内の乳児が感染した場合は注意が必要。インフルエンザ同様の予防方法が適切です。

溶連菌感染症

A群β型溶連菌が引き起こす急性咽頭炎です。高熱や咽頭の発赤、痛みが特徴です。主に子どもの感染症として認識されていますが、大人が感染し症状が出た場合は重症化するケースもありますので要注意です。感染経路は咳やくしゃみによる飛沫感染です。インフルエンザ同様の予防が可能です。

ノロウイルス

1年を通して発生するウイルスですが、特に秋から冬にかけての時期に流行します。激しい嘔吐や下痢、腹痛が主症状。主に経口感染が経路です。うがい・手洗いが予防になります！



ロタウイルス

乳幼児（0～6歳）にかかりやすい病気です。大人は感染しても症状が出ることはほとんどありません。下痢や嘔吐が繰り返し起こるので、脱水にも注意が必要です。ノロウイルス同様、主に汚物からの感染しますので、子どものオムツの処理や徹底した手洗いが大切です。

冬に流行しやすい
感染症の種類の特徴と予防方法

ちょっとこぼれ話

重症化予防は免疫力アップで可能になります。免疫力アップの代表がワクチン接種！ワクチンを接種したから感染しないわけではありませんが、感染率を10分の1以下に下げたり、重症化を防ぐことが可能です。ワクチン以外の免疫力アップは体力をつけることです！ヤクルトやヨーグルトで質の良い乳酸菌を毎日の食事に取り入れる習慣で感染症の重症化を防げるとも言われています。

11月14日は世界糖尿病デー

入江病院は糖尿病患者様を応援しています

日々の食事が あなたのカラダをつくる！



皆さんは何を基準にお食事のメニューを考えていますか？「その時、食べたいもの」、「ご家族の好み」など、考えることは様々だと思いますが、そこに「カラダのこと」もプラスして考えてみてはどうでしょう。人間のカラダは食べたものから構成されます。栄養素にはそれぞれの働きがあり、少なすぎても多すぎてもカラダにはよくありません。

今年の当院での世界糖尿病デーイベントは食事に関する話題です。今一度、お食事について一緒に考えてみませんか？

イベントのご案内

10月31日（月）～11月5日（土）

『無料血糖測定』

外来処置室、療養指導室にてどなたでも測定できます。

『食品展示会』

大塚食品が開発したマイサイズシリーズを展示します。

11月5日（土）10:00～

『外来糖尿病教室』

大塚食品との共同企画で試食会を実施します。

展示会の商品も試食して頂けます。

是非、お気軽に越しください。4階食堂にて。



編集後記

今年も残すところ2ヶ月程となりました。これから季節は、
感染症などが流行します。また、仕事にプライベートに多忙を極める
季節です。くれぐれも体調管理にお気を付けください。



医療法人
松藤会

入江病院

〒672-8092 姫路市飾磨区英賀春日町2-25

TEL：(079)239-3121(代)

FAX：(079)239-8975

H P <http://www.irie.or.jp>



広報誌に関するご意見はこちらまでお寄せ下さい

電話 079-238-5855 FAX 079-238-5856
E-MAIL ohnishi@irie.or.jp (携帯電話からも可)

外来診療日程表

診療時間	診療科目	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～12:00 (受付時間) 8:00～11:45	総合診療科	<input type="radio"/>	予約	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	内科	<input type="radio"/>					
	糖尿病内科	<input type="radio"/>					
	整形外科	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	予約	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	脳神経外科	<input type="radio"/>					
	泌尿器科		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
午後診 17:00～19:00 (受付時間) 16:00～18:45	総合診療科	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
	内科		<input type="radio"/>				
	整形外科	<input type="radio"/>		予約	予約	<input type="radio"/>	
	脳神経外科	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			

※ 糖尿病内科はすべて予約制です。